



アスピンの報告

江頭一馬

ぼくはアスピンに短期留学してきて、日本とアメリカの習慣や文化のちがいがよくわかりました。

まず、食べ物についてですが、お米はほとんどなかったです。あってもインディカ米のようなパサパサとした米でした。ぼくがホームステイしたウィルの家の朝食では、毎日パンかパンケーキでした。そして、おらずにスクランブルエッグやカリカリに焼いたベーコンを作ってくれました。夕食は、スパゲッティやスープなどさまざまでした。最後の日に作ってくれたステーキは、分厚く大きくておどろきました。

アスピンではスキーもしました。ぼくたちが行ったのは、アスピンで一番広いスキー場のスノーマスという所で、一本リフトに乗るだけで、ずいぶんすべることができました。ゴンドラなどに乗ると、知らない人でも気軽に話しかけてくれて会話が盛り上がったりもしました。

そして、アスピンでおどろいたことは、ゴミの始末です。日本ならば、しっかりと分別



をして捨てていますが、アスピンでは、プラスチックゴミも生ゴミも一般ゴミも分別せずに捨てていることです。また、学校の給食では、多めに料理を取って、ほとんど残してしまうことが少しもつたない気がしました。

ぼくは、アスピンで主に気候や鉱山について調べてきました。アスピンには、木の生えていない丘のような山が多かったです。また、あちこちで地層がむき出しになっている所がありました。アスピンには、数千か所の鉱山の入り口があり、山の上からとなり

の山まで続くとても長いトンネルが多くあるそうです。アスピンでの思い出は、スキーやスケートなどもそうで

すが、ウィルやその家族、アスピンの友だちと過ごし交流した時間が一番の思い出です。

今回、このような貴重な経験ができて、とてもよい勉強になりました。もし、海外に行くことがあれば、この経験を生かしたいと思います。

アスピンの感想

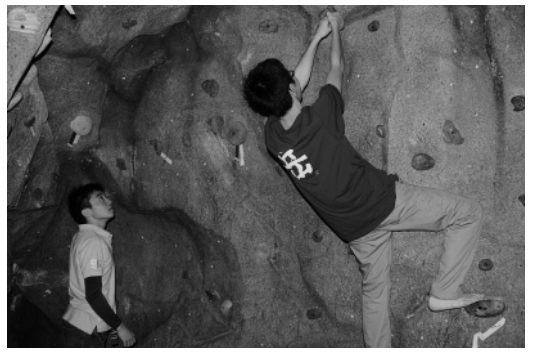
加藤颯斗

僕はアスピンでたくさん経験と思い出ができました。

例えば、アスピンに行く前は、ごみの捨て方がわからなかったのですが、現場に行ってからすごく驚きました。日本ではごみを分別しますが、アメリカではそれがなくて戸惑いました。

あと、僕だけかもしれないですが、二人だけの男子というところで、頼りないかもしれないけど、みんなを引っ張っていかうと思っていました。結果がどうなったか、みんなのことはわからないのですが、災難がなかったののできたと思っています。

それと、年が明ける前に泊まり会があったのですが、その時に比べてみんなたくましくなったと思いますし、み



んなの団結力が高くなったと思います。

現地での一番の思い出は、遊んだこととか面白い物したところとかではなく、ただ単純に、アメリカの友達に久々に会ったときの嬉しさです。そのときの嬉しさは、今も忘れずに心に残っています。この先、生きていく中で、絶対に忘れないと思います。その分、空港で別れたときの寂しさも半端じゃないくらいの感情が心に刺さりました。

アスペンに行ってから調べたことについては、見聞きしたときに驚かされました。例えば、家の大きさです。僕が訪れさせてもらった家は、あまり大きくなかったのですが、その友達の家はすごいこ

とになっていました。地下を含む三階建てでした。日本と違って、家にある物が大きかったり、数がいっぱいあったりで大変でした。トイレに行ったら迷子になる場所でした。

洋食については、とても大きなステーキを食べさせてもらったたり、最終日にピザを作ったりなどおいしい物をたくさんいただきました。調味料は十種類以上あり、同じ物でも日によって味が違ってびっくりしました。また、日本では、塩は小さいのですが、現地では塩が結晶の形で出てきました。

最後にアドバイスではないですが、僕たちより後輩の人たちには、120%後悔しないで占冠に帰って来てほしいと思います。僕は一つだけできなかつたことがあり、今もすごく悔んでいます。でも、いくら悔やんでももうできないので、絶対に後悔しないので帰って来て下さい。

アメリカの食べ物とアスペンで楽しかったこと

多田 葵泉

私は、アスペンで日本の食べ物との違いを探してきました。

た。

まず、朝ご飯は基本的に、パン、スクランブルエッグ、ベーコンでした。ベーコンがとてもカリカリで美味しかったです。お昼ご飯は、ハンバーガーか学校の給食でした。給食はカントリデーではアジア料理、ミドルスクールとコミュニケーションスクールではピザが出ました。ハンバーガーについてくるポテトがとても美味しかったです。夜ご飯は、ステーキやピザ、ラザニアなどに野菜がありました。初めてラザニアを食べて美味しかったです。

アメリカの食べ物は、日本と違ってすべて量が多く完食できることがほとんどありませんでした。味も日本と比べ



て濃かったです。でも、すべてとても美味しかったです。アスペンで楽しかったことは、たくさんあります。

まず、スケートをしたことです。私は、初めてスケートをしました。最初はとても怖かったけど、だんだん慣れてきて少しだけできるようになって嬉しかったです。アスペン生と行ったとき、みんなとても上手くてびっくりしました。

次に、エミリーの家でたくさん遊んだことです。バスケットをしたり、地下で卓球をしたり、フラフープで遊んだりして、とても楽しかったです。フラフープをしたときは、トランポリンをしながらやりたり、フラフープをしながらバ

スケをしたりして初めての遊び方で、楽しかったです。

あとは、兄のときにホームステイに来たベンに会えたことです。また会えてとても嬉しかったです。背が凄く大きくて驚きました。

私は、将来必ずまたアスペンに行きます。そしてエミリーやエミリーの家族、ベンにもまた会いたいです。そのために motto 英語を勉強して次に会うときはたくさん話ができるようになってみたいです。

最後に、このような機会をつくっていただき本当にありがとうございます。この貴重な体験を無駄にせず、これから生かしていきたいです。

アスペンに行つての反省

橘 美香

私がアスペンに行つての反省は、ホストファミリーと話すときに使う英単語をもう少ししっかりと調べておけばよかったことと質問をもう少しきたらよかったことです。

しっかりと調べておけばよかったと思う理由ですが、日本にいたときにどんなことを一緒に話せるかなと考え、実



実際に話すときに使う英文をつくってから行きました。その英文で話すことはできましたが、アスペンに行つてこんなことを聞いてみたいなという英文をすぐにつくれませんでした。そのときは、なんとか単語で伝えることができてよかったのですが、そのときぐらいにしかできませんでした。なので、もう少し話したいことを考えておけばよかったのと、英単語をもっとしっかり調べておけばもっといろんな話を聞くことができたかもしれないと思いました。質問をもう少しできたほうが、ホストファミリーと違って、ホストファミリーとは思っていただけでも話すことはできましたが、もっと積極的に話したかったと思いました。なぜな

ら、一週間しか一緒にいられなかったので話しをもっと聞きたかったこと、デボンの妹に、「どんなことが好き？」と聞くことができなかったことなどがあつたからです。もっと質問内容を考えて英文をつくっておけばよかったです。

初めての海外

藤田彩花

「わあっ。」

初めてのアメリカの地に着いたとき、私は「すごいな。ここがアメリカか」と思い、そう言つたのを覚えています。アスペンでは、ホストファミリーの方々とたくさん思い出を作ることもできました。

私がとても心に残っているのは、モリーとスキー、テニス、ショッピング、スケートをしたことや映画を観たことです。スキーは、日本よりコースが長く、広かつたのでたくさん時間滑っていることができました。日本とは違つたリフトに乗ることもできました。テニスは、モリーの他にアスペンの子二人としました。たくさんのかんことを教えてもらいながら、プレイをし

した。ショッピングは、お土産やアメリカならではの物を買うことができました。スケートは、最初怖くてあまり動けなかつたけれど、慣れたらそこそこ滑れるようになりました。映画は、アメリカで人気の映画をたくさん知ることができました。ホストファミリーと過ごした時間はどれも貴重ですごく楽しかったです。アメリカのことをたくさん知ることができた気がしました。

日本で経験したことがなく、とても心に残っていることは、夜にホストファミリーの家で薄い紙に自分の願い事を書き、その紙を一枚ずつ燃やしていくという占いです。燃やすと、その紙が宙に浮き、浮くと願いが叶うそうです。



それをやつたところ、私の紙は宙に浮きませんでした。今まで浮かなかつたことがないようで、ホストファミリーの方々も、

「浮かなかつたらどうなるかわからない」と言っていました。

私の紙は浮かなかつたけれど、初めての経験ができ、とても嬉しかったです。ホストファミリーの方々は

とても温かく、フレンドリーでした。ホストファミリーとの思い出がたくさんできて嬉しかったです。

私は今回「宗教」のことに ついて調べようと思つたのですが、あまり特別な習慣はないそうです。なので、「音楽」のことに ついて調べてきまし

た。

宗教について少しわかつたことは、アスペンには様々な宗教があり、私のホストファミリーはキリスト教徒でユダヤ人だそうです。ユダヤ人の伝統の食べ物の一つは、フレンチトーストだと教えてもらいました。

音楽は、洋楽をあまり聴いたことがなかつたので、今回アスペンに行つてたくさん聴くことができました。家でも聴きたいです。

アスペンでは、たくさん思い出だけできなく、様々なことを学ぶこともできました。アスペンのことを親切に教えてもらいました。

このようなたくさん思い出や学んだことを書けるのも、アスペンへ行くために支えてくださった村の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

アスペンでの思い出

藤田悠花

私は、アスペンに行つてたくさん思い出ができました。

まず、私がアスペンに行つて楽しかつたことは、スキーをしたことと週末にみんな



集まって遊んだりメリーの家で遊んだりしたことです。

スキーは、アスペンのスキー場はコースが長くていっぱい滑れたし、たくさんの人が一つのリフトに乗れるので、みんなでしゃべったりしたことが楽しかったです。

週末は、みんなでレクリエーションセンターに行つて遊んだり、ボウリングをしたり、昼食と一緒に食べたり、買い物と一緒にしたりしました。すごく楽しく過ごすことができました。

メリーの家では、みんなでご飯を食べたり、ゲームをして遊んだり、テレビを見たりなどたくさんすることをして遊びました。

家族とはトランプをした

り、折り紙を折ったり、一緒にテレビや写真を見たりしました。

他にも色々な楽しい思い出を作ることができました。

次に、私がアスペンに行つて驚いたことは、家がすごく広かったり、家の外に露天風呂みたいな小さいお風呂があったりしたことです。

いっぱい驚いた中で私が特に印象に残っていることは、消防署にたくさんさんのクリスマス飾りがしてあったことです。日本では、飾りをしていく消防署を見たことがなかったし、邪魔になりそうだなあとも思いました。日本とアメリカはこういうところも違うんだなあと思いました。

私は、「日本とのいろいろな



違い」ということをテーマにしてアスペンに行きました。アスペンでは、たくさんさんの日本との違いを見つけることができました。みんなにしっかりと伝えることができるようにがんばろうと思います。

こんなにたくさん思い出を作ることができて本当にうれしいなあ、よかったなあと思います。

このような経験ができたのは、地域の皆さんや教育委員会の方々、コーリーさんのご協力のおかげだと思っております。本当にありがとうございます。

アスペンに行つて楽しかったこと

堀江優綺

私がアスペンに行つて楽しかったことはたくさんあります。

一つ目は、みんなとスキーをしたことです。スキー場がとても大きくて、いろいろなコースを滑ることができました。それに、リフトから見ると景色は山が連なって見えてとてもきれいでした。

二つ目は、レクリエーションセンターでいろいろな活動をしたことです。特に楽しかつ



たのがロッククライミングをしたことです。私は、ロッククライミングをするのが初めてで、すぐに腕が疲れて岩を離してしまいました。けれど、カーリーは、みんなとすんなりと登っていました。とても驚きました。私もだんだんすんなり登れるようになって、楽しくなっていました。

三つ目は、カーリーと一緒にクッキーを作ったことです。二人で何回も味見をしながら作りました。入れる砂糖の量がとても多くて驚きました。チョコレートと同じくらい甘いクッキーができました。

私のアスペンで調べてきたテーマは、日本とアメリカのお菓子の違いだったので、アスペンでたくさんのお菓子

を食べました。とても甘いお菓子がたくさんありました。私には甘すぎるものもありました。また、歯磨き粉みたいな味のお菓子もありました。体に悪そうだなあと思いました。そして、一袋に入っている量が多くて驚きました。

アスペンの思い出

森 彩花

アスペンでは、ほとんど毎日スクールバスにのって、カントリーデイスクールまで行き、そこから、ホームステイでお世話になっているお母さんたちが、活動場所まで送ってくれました。

私は、スクールバスに乗って驚いたことが一つあります。それは、同年代くらいの子から、幼稚園児くらいの子が関係なくほとんど全員、スマホや、ゲーム機等をバスに持ち込み、音楽を聴いたり、ゲームをしたりしていたことです。アメリカの、スマホの

携帯率が高いことが一目で分かったので、びっくりしました。

そして、アスペンでの活動でいろいろな学校を訪問したり、スポーツをたくさんしたりすることができました。

アスペンで買い物していて気づいたことは、日本に比べ、玩具が安かったり、飲み物が少し高かったりと、微妙な値段の違いがあったことです。アメリカのものは、何でも日本より大きいサイズでした。総合的には、アメリカの方が特だと思いました。

ある日、私たちは、アスペン市内で行われる、スープ祭りに行きました。おいしい味のスープだったり、変な味のスープだったり、たくさん



スープがありました。シエナ達はその会場の中にある、DJがBGMを流している所に連れて行ってくれました。そこで、アスペン生達が、音楽に合わせて踊っていました。由菜ちゃんや、悠花ちゃんも一緒に踊っていたので私たちも踊りました。とても面白かったです。

この短期留学は、とても充実して、たくさんの方が知れて自分のためにもなったし、楽しかったです。

最後に、この短期留学を援助していただいた皆さん、ありがとうございました。私は、初めての海外旅行が、この短期留学で本当に良かったと思います。私は、将来もう一度アスペンに行きたいと思いました。本当にありがとうございました。

アスペンに行つて

山田由菜

私は、アスペンでたくさんの方を感じ、学びました。たくさんありますが、一部のことについて紹介したいと思います。

ホームステイしているときに困ったのは、シャワーの使い方が難しかったことです。



また、食事のときに、おかずがのつたお皿の上に、さらに別のお皿を乗せてシリアルやヨーグルトを入れていて、驚きました。

楽しかったことは、学校訪問で箸の使い方を教えたり、一緒にお菓子を作ったり、一緒に、たくさんの方とコミュニケーションをとったことです。また、私は、休日も占冠のみんなに会うことが多かったの、みんなでレクリエーションセンターに行ったり、ハンバーガーを食べたりしました。レクリエーションセンターでは、アスペン生が案内してくれました。また、別の日には、悠花さんと一緒にお面を作りました。他にも、たくさんの方の楽しい思い出が



き、とても充実していました。たくさんの方が温かく迎えてくださり、不安がとけ、たくさんコミュニケーションをとることができました。私が、知れたかったコミュニケーションのことにしても、ホストファミリーを始め、いろいろな方々が、

「こんなゲームがあるよ」

「こうしたら、有利になるよ」

と言って教えてくれました。このことから、「声をかける」「リアクションをはっきりさせる」といった特徴をみつけることができました。何よりもエミリーやエミリーの弟、友達とゲームというツールでコミュニケーションをとることができたことが嬉しかったです。

平成25年度中学生短期交換留学事業を終えて

トマム小学校 教諭 牧野 高志

最後に、今回ホームステイに行かせていただき本当にありがとうございました。皆さんの貴重な体験ができ、本当によかったです。迎えてくださった方々、行かせていただいた方々への感謝と同じように、これからの日常でも感謝を忘れずに過ごしていきたいです。そして、英語についても、もっと勉強したいと思いました。

この度、短期交換留学事業に引率として参加させていただき、本当にありがとうございました。参加させていたいただき、率直に思うことは、今後本事業を継続して欲しいということです。言語や文化、習慣などの違いを越えての交流は、生徒たちにとっても、私にとっても大変印象に残りました。その中でも、私が特に印象に残った次の二点について述べさせていただきます。

まず、私自身が日本や北海道についてもっと知っておくべきであったということ

す。私は、ホームステイ先でアメリカの文化や習慣について、いくつかのことを教えてもらったのですが、「日本ではどうなのか」などと、日本の文化や習慣について尋ねられると、あまり答えることはできませんでした。ですので、ホームステイ先で話しをしていて、ホストファミリーは、アメリカの食文化やキリスト教の歴史などについて知識が豊富にあり、アメリカに対する愛国心や誇りを持つていると感じました。他国の文化や習慣について知るためには、まずは自分の国について知り、誇りを持つことが大切であると思いました。

次に、コミュニケーションを積極的に行い、交流を深め



うな貴重な体験ができる本事業がこれからも続き、占冠の子どもたちが、外国の言語や文化を体験的に理解を深めることができることを願っています。

アスペン

占冠中学校 教諭

岡本 繭

今回は、アスペン空港が事故で閉鎖してしまい、私たちはデンバー空港で約5時間待ち、その後4時間バスに揺られて、やっとアスペンに到着することができました。到着は夜中でしたが、「Welcome (ウェルカム)」の横断幕を持ったホストファミリーが迎えてくれました。それまで旅の疲れでぐったりとしていた生徒達にパツと笑顔がもどった瞬間でした。

次の日からは、早速学校訪問やスキー、銀の鉱山ツアーなどが始まりました。訪問したコミュニティスクールでは5年生の生徒と一緒にお菓子を作りました。材料の分量が「スプーン 1-2」などと提示され、「これを4倍した量で作るよ、どれだけ？」との問いかけに、暗算して答える5年生の子どもたち。数学を教

える身としては、興味深いやりとりでした。他にも3つの学校訪問で理科やフランス語の授業、いろいろな教室を見させていただき、教師としても刺激を受けました。

9人の生徒は、学校の様子、お店の広さや売り方の違い、街や風景など、次々と現れる初めての場面に「わあー」と驚きや感動の声を上げていました。面白い、きれい、なんだろう、と興味をもって毎日进行、一生懸命相手の英語に耳を傾けて会話していました。最後のパーティーのスピーチでは全員が伝えたいことをしっかり英語で伝え、感謝の気持ちを表しました。帰りたくない、また来たい、と

語った生徒もいました。言語や文化の違いを乗り越えアスピンの家族や友だちと過ごした日々は、生徒達にとってかけがえのないものになったと思います。いつか再会する日まで、その思い出を大切にしておきたいと思っています。そしてこの絆がメールや手紙のやりとりでいつまでも続けばと強く願います。私も、今回できた新たな友人を大切にしたいと思っています。

慣れない海外への引率には不安や緊張もありましたが、生徒達がたくさんのお話を学び、感じ取ってきたのと同じくらい、自分にとっても貴重な経験でした。本当にありがとうございました。

